

森・食・農の文化と先端生命科学が共生する“いのち輝く、創造と伝統のまち 鶴岡

山形県鶴岡市（2020年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>東北地方の日本海に面する山形県庄内地方の南部に位置し、人口は約11万人で東北一の市域面積を有する。</p> <p>市域内には、森里川海の豊かな資源、歴史文化に彩られた3つの日本遺産を有し、日本で唯一ユネスコ食文化創造都市に加盟している。また、高度な研究機能や関連産業を集積する鶴岡サイエンスパークがあり、バイオクラスターの形成に取り組むなど、伝統と新たな産業が融合する魅力あふれるまちである。</p> <p>地域課題として、少子高齢化を伴う人口減少など地方都市共通の課題を有しており、その解決のため、デジタルガバメントの構築やデジタル化によるヘルスケアサービス、鶴岡型ESDの推進等による市民が豊かさを実感できる地域社会づくりを目指す。</p>	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	<p>森・食・農・先端生命科学の「いのち」を素材とした本市の豊かな地域資源が、Society5.0や未来技術、民間のSDGs活動などと有機的に結び付くことにより、産業経済の自律的好循環の実現と市民一人ひとりの健康、学び、多様な価値観を認め合い、幸せと思える豊かさを追求しながら暮らしやすさを実感する“いのち輝く創造と伝統のまち”を創出する。</p>	

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

- ◆産官学等の連携
市内に有する4つの高等教育機関、高度な研究機能や関連産業が集積する鶴岡サイエンスパークにおいて、バイオクラスターの形成による新たな産業の創出や高度・専門人材の育成の支援等を実施した。
- ◆普及啓発
教育機関や地域団体等への「出前講座」を4回実施するなど、市民等にSDGsの理解を深め、市の取組を発信した。また、SDGsの推進に取り組む企業や団体等を登録する「つるおかSDGs推進パートナー」制度の更なる充実に向け、制度周知等を実施した。

5. 取組推進の工夫

総合計画の実施計画において、基本計画のすべての施策をSDGsの理念・目標等と照らし合わせ整理し、位置づけることにより、総合計画の着実な推進と併せて、SDGs未来都市の実現に向けて取り組んでいる。

6. 取組成果

- ▶ 産官学連携として、市立荘内病院と国立がん研究センター東病院との医療連携協定に基づき令和2年11月に荘内病院に「がん相談外来」を開設し、月1回、東病院の専門医によるセカンドオピニオンを実施している。また、モニターを通じてリアルタイムに手術の指導・助言を行う遠隔手術サポートシステムを整備し、令和5年度には外科手術・婦人科手術を計13件実施するなど、患者サービスが向上されるとともに、医師の技術向上にも好影響が生まれた。
- ▶ 普及啓発として、出前講座を通じ市民のSDGsに対する理解醸成に寄与した。また、パートナー制度の周知として、新聞へ広告を出したことにより、登録団体数は120団体を超えた。

7. 今後の展開策

SDGs宣言登録制度としてSDGsに取り組む地域の企業・団体等から「つるおかSDGs推進パートナー」として「宣言」、「登録」してもらい、“見える化”を通じ、活動の輪を広めていく取組を展開する。

8. 他地域への展開状況 (普及効果)

令和5年度東北SDGS未来都市サミット(陸前高田市)への参加

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

山形県鶴岡市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

鶴岡市SDGs未来都市計画
森・食・農の文化と先端生命科学が共生する“いのち輝く、創造と伝
統のまち 鶴岡”

山形県鶴岡市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	農業産出額【2.3】	2016年 307 億円	2022年 278 億円	2028年 400 億円	-31.2%	目標達成度が低いものの、土地改良事業の推進や施設、機械の整備、団地化等を支援し、収益性の高い園芸作物の生産拡大を図ること取組達成へ向け推進を図る。
2	観光入込客数【8.9】	2018年3月末 631 万人	2022年 428 万人	2028年 790 万人	-127.7%	目標達成度は低いものの、戦略的な観光施策の展開を通じ、取組達成を目指す。
3	高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を本市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）【9.4、9.5】	2018年3月 5 社	2022年 5 社	2028年 9 社	0.0%	目標達成度は低いものの、ベンチャー企業の事業活動の成長を支える環境整備などを行い、取組達成へ向け推進を図る。
4	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】 ・自己肯定感を感じている子ども	2017年 78 %	2022年 76 %	2028年 84 %	-33.3%	目標達成度が低いものの、地域と協働して学校教育を推進することで取組達成を目指す。
5	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】 ・他者との協働や共生について考えている子ども	2017年 43 %	2022年 62 %	2028年 57 %	135.7%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
6	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合【4.1】 ・学んだことを日常に生かそうとする子ども	2017年 82 %	2022年 全国学習状況調査から 該当項目削除のため データについて調整中	2028年 87 %	-	-
7	子育てのしやすさに対する満足度 「子育てしやすい」と思う保護者の割合【3.2、4.2】	2019年 27.6 %	2022年 20.6 %	2028年 50.8 %	-30.2%	快適で安心して利用できるよう施設整備やワークライフバランスの実現などを通じ、取組達成を目指す。
8	学校給食に対する満足度 「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合【2.1、4.7】 ・小学生	2013年～2014年 75.2 %	2022年 96.9 %	2028年 80.2 %	434.0%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
9	学校給食に対する満足度 「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合【2.1、4.7】 ・中学生	2013年～2014年 55.3 %	2022年 95.6 %	2028年 64.2 %	452.8%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
10	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・胃がん検診受診率	2017年 32.7 %	2022年 29.5 %	2028年 36.6 %	-82.1%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
11	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・大腸がん検診受診率	2017年 38.9 %	2022年 38 %	2028年 41.2 %	-39.1%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
12	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・肺がん検診受診率	2017年 41.1 %	2022年 39.5 %	2028年 43.9 %	-57.1%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
13	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・乳がん検診受診率	2017年 23.7 %	2022年 20.6 %	2028年 24.7 %	-310.0%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
14	がん検診受診率【3.7、3.8】 ・子宮がん検診受診率	2017年 32.6 %	2022年 30.8 %	2028年 35.0 %	-75.0%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
15	エネルギー自給率【7.2、7.3】	2019年3月 29.5 %	2022年 31.5 %	2028年 34.0 %	44.4%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
16	温室効果ガスの削減（2015年の温室効果ガス排出量を基準とした削減率）【13.1、13.2】	2017年3月 983.9 kt-co2	2022年 836.1 kt-co2	2028年 755.7 kt-co2	64.8%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

山形県鶴岡市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	高等教育研究機関、ベンチャー等の集積を生かした自律的好循環による産業経済の発展に向けた取組	高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を本市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）	2018年3月 5社	2022年 5社	2022年 6社	0.0%	目標達成度は低いものの、ベンチャー企業の事業活動の成長を支える環境整備などを行い、取組達成へ向け推進を図る。
2	豊かな森里川海の資源を生かした観光・食・農林漁業のブランド化と活性化に向けた取組	観光入込客数	2017年3月末 631万人	2022年 428万人	2022年 760万人	-157.4%	目標達成度は低いものの、戦略的な観光施策の展開を通じ、取組達成を目指す。
3	デジタル化・Society5.0の活用によるヘルスケアなど市民の生活環境の向上に向けた取組	・胃がん検診受診率	2017年 32.7%	2022年 29.5%	2022年 34.0%	-246.2%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
4		・大腸がん検診受診率	2017年 38.9%	2022年 38.0%	2022年 40.3%	-64.3%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
5		・肺がん検診受診率	2017年 41.1%	2022年 39.5%	2022年 42.8%	-94.1%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
6		・乳がん検診受診率	2017年 23.7%	2022年 20.6%	2022年 24.3%	-516.7%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで取組達成へ向け推進を図る。
7		・子宮がん検診受診率	2017年 32.6%	2022年 30.8%	2022年 34.0%	-128.6%	目標達成度が低いものの、健診を受けやすい環境・体制を整備することで2期計画でも引き続き推進を図る。
8	鶴岡型ESDの構築とユネスコ創造都市ネットワークの活用に向けた取組	学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合 ・小学生	2013年～2014年 75.2%	2022年 96.9%	2022年 77.0%	1205.6%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
9		学校給食に対する満足度「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合 ・中学生	2013年～2014年 55.3%	2022年 95.6%	2022年 58.0%	1492.6%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

山形県鶴岡市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
10		児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・自己肯定感を感じている子ども	2017年 78.0 %	2022年 76.0 %	2022年 80.0 %	-100.0%	目標達成度は低いものの、地域と協働して学校教育を推進することで取組達成を目指す。
11	歴史と伝統を学びながら新たな時代にも対応する学校教育の推進に向けた取組	児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・他者との協働や共生について考えている子ども	2017年 43.0 %	2022年 62.0 %	2022年 55.0 %	158.3%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
12		児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合 ・学んだことを日常に生かそうとする子ども	2017年 82 %	2022年 全国学習状況調査から該当項目削除のためデータについて調整中	2022年 83 %	-	-
13	子どもを産み育てやすい環境の充実にに向けた取組	子育てのしやすさに対する満足度「子育てしやすい」と思う保護者の割合	2019年 27.6 %	2022年 20.6 %	2022年 34.8 %	-97.2%	快適で安心して利用できるよう施設整備やワークライフバランスの実現などを通じ、2期計画でも引き続き取り組むこととする。
14	再生可能エネルギーなどの活用による市民・企業の低炭素化に向けた取組の展開	エネルギー自給率	2018年3月 29.4 %	2022年 31.5 %	2022年 31.7 %	91.3%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
15	豊かな地域資源の保全・活性化による災害にも強い地域循環共生圏の構築に向けた取組	温室効果ガスの削減（2015年の温室効果ガス排出量を基準とした削減量）	2017年3月 983.9 kt-co2	2022年 836.1 kt-co2	2022年 866.7 kt-co2	126.1%	目標達成に向け、市民・事業者・行政で連携のうえ、2期計画でも引き続き取り組むこととする。

(5) 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

<p>●特筆すべき事業内容</p> <p>(1) No.1「農業産出額」やNo.2「観光入込客数」、No.4～6「児童生徒の自己肯定感や協働、共生の意識「全国学習状況調査」における割合」及びNo.10～14「がん検診受診率」の達成度が低迷しているが、いずれもコロナ禍における需要減や自然災害等の影響による実績の減少、また病院への受診控えが主要要因である。そのため、各担当部署において積極的な広報、受入れ体制の整備を行い、2期計画において目標達成ができるよう推進を図る。</p> <p>(2) No.13「子どもを産み育てやすい環境の充実にに向けた取組」に関する項目が低迷しているが、保育料や給食費、医療費の負担軽減策を講じるほか、部署横断で子ども・子育てに関する施策・事業を検討・立案するためのプロジェクトを発足し、子育て世代のニーズを把握し、事業所管部署と調整のうえニーズに沿った事業展開を行っている。</p> <p>No.1「高等教育研究機関、ベンチャー等の集積を生かした自律的好循環による産業経済の発展に向けた取組」に関連し、鶴岡サイエンスパーク内で2021年に誕生した新たなベンチャー企業が2社については創業開始間もないが、着実に従業員が増加しており、引き続き安定した企業活動に向け、施設整備などの支援を図る。</p> <p>No.8～9「鶴岡型ESDの構築とユネスコ創造都市ネットワークの活用に向けた取組」として、郷土料理や地元の食材を使用した給食の提供により、目標値を大幅に上回る結果であったため、引き続き取り組みを推進する。</p> <p>●成果、課題 地域課題である少子高齢化を伴う人口減少解決のため、遠隔保健指導サービスや公共施設やイベント予約のオンライン化、避難情報などの防災情報の伝達体制の整備するなど地域全体で能動的なデジタル化を推進するほか、SDGsの普及啓発や達成に向けた取組を共に推進する事業者・団体等のネットワークを構築するため、「つるおかSDGs推進パートナー」制度を創設し、市内企業で連携し、SDGs実現に向けた取り組みを実施する仕組みを創設した。</p> <p>●今後の展望 SDGsを通じ、市民が豊かさを実感できる地域社会を実現するため、本市の総合計画実施計画において、基本計画のすべての施策をSDGsの理念・目標等と照らし合わせ整理し、位置づけることで総合計画の着実な推進と併せ、SDGs未来都市の実現に向けて取り組んでいく。</p>
--

(6) 有識者からの取組に対する評価

<p>・コロナ禍の影響が厳しい中、着実に取組を進められていると思う。120を超えるパートナー制度登録組織との連携を図り、地域の持続的な発展に資する取組を展開して欲しい。</p> <p>・他者との協働共生について考える子ども、学校給食への満足度が急激に増えている点は興味深い。</p>
